

①テーマ

「でらチャリ」で行く!! **よくばり熱田！ いいところ巡り！**

イラスト: Loose Drawing



②アイデアのイメージ

目的: 若者に熱田区の歴史的史跡やお店を訪れてもらうためのきっかけをつくる

問題点

- ①熱田区に訪れる若者が少ない
- ②歴史ある熱田の魅力が伝わっていない
- ③若者を引き付ける情報発信源がない

熱田区には多くの歴史的史跡などがあるが、その魅力を若者に伝える**きっかけがない**。さらに、若者に人気のおしゃれなカフェが多くあることもあまり知られていない。



出典: 熱田神宮公式ホームページ

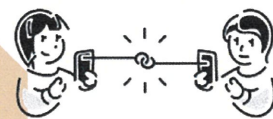
出典: <https://www.nagoya-info.jp/spot/detail/33/>

解決策

歴史的史跡&お洒落カフェの地図付きのパンフレットを作り、さらに**特典付きSNSスタンプラリー**を行う。

内容

熱田区の歴史的史跡を訪れ、そこにあるスタンプを押し、**特定のハッシュタグ**をつけてストーリーズやSNSに載せる



- ✓パンフレットだけではなくSNSでも発信する
- ✓**レンタル自転車「でらチャリ」**の利用も！

YouTubeとInstagramで簡単な紹介動画をUP!!

レンタル自転車を使うことで、人の多い場所を避けて、遊ぶことができる

行きたかったカフェをお得に利用できる

参加者側のメリット

気軽に旅行に行けないコロナ禍において歴史的史跡に触れることができる

今までにないような遊び方で、休日を過ごせる。

行う上での問題点と解決策

- 若者のごみのポイ捨てが増える
→ゴミ箱を増やす
- 自転車の交通ルールを守らない人が出る
→ルールを書いた張り紙をする
- 多数のカフェと各史跡との連携が必要



出典: でらチャリ公式ホームページ

流れ



③アイデアの特徴・メリット

この取り組みは熱田区を訪れる若者が少ないという点、魅力ある歴史的史跡があまり知られていない現状に焦点を置いている。熱田区には、若者に人気のカフェが数多くあるが、その一方で、熱田区の歴史的史跡に目を向ける若者は少ない。その理由は、訪れるきっかけがないことをだと考える。そこで、若者に人気のあるカフェと歴史的史跡を組み合わせ、特典付きSNSスタンプラリーを行うことで、若者が歴史的史跡を訪れるきっかけを作ろうと考えた。同時に、熱田区のカフェと歴史的史跡の位置を示すパンフレットを作り、駅などに配置することで、誰でも気軽に手に取ってもらい、興味を持ってもらえる。さらに、熱田区内を移動する際は、公共交通機関ではなく、レンタサイクル「でらチャリ」を利用することで、コロナ禍の3密を避け、人込みを避けて街並みを楽しんでもらうこともポイントの一つだ。この取り組みはSNSやYouTubeなどの情報網を使う&自作パンフレットの紙媒体を使うことで、様々な人に知っていただき、多くの若者に興味を持ってもらうものである。これにより、歴史的史跡という熱田区の財産を若い世代に伝え、熱田区に足を運ぶきっかけづくりをしたい。

提出者

外国語

学部

担当

先生

学籍番号/氏名

①テーマ



熱田の未来を守り隊

～災害と飲食店を守る部隊～



課題

非常食の準備をしても、消費期限が切れてしまうことやそのまま食べることしかない



食品

防災

解決策

課題

熱田区民は災害に対する備えはしているが、防災訓練や講習会・講演会の出席率が悪い
(参考資料: 令和2年度熱田区区民アンケート)

メリット

- ・色んな人と交流できる
- ・大学と地域の交流ができる
- ・楽しく学べる

・高齢者

→大学生の同伴が可能

・外国人

→英語の表記あり

③アイデアの特徴・メリット

- ・このイベントを行うことで、大学と地域の交流ができるだけでなく、各世代の様々な人とも交流ができる。そうすることによって繋がりが生まれ、もしもの時に助け合うことができるようになる。
- ・防災の意識がある熱田区民にとって更なる防災意識の向上になる。
- ・学生も防災について学ぶことができ、もしもの時に率先して行動することができる。

会場は、名古屋学院大学で実施する。大学の教室で食品と防災のコラボイベント。食品は非常食のアレンジの試食する。これは地域の飲食店と学生がコラボレーションした非常食やお菓子などの一般食品をアレンジした非常食の試食をする。防災は熱田の特徴にあわせて防災を紹介する。これは避難経路・時間・場所、今後できる3Dハザードマップの活用、災害体験者のお話などをまとめ、クイズや質問などの参加型で紹介する。終了後には抽選券を配布、外では抽選会をする。景品は防災グッズや熱田区内の飲食店限定で使える割引券など。案内は①地域の案内板に手作りポスターの掲示②熱田区のホームページで紹介③学生が家にチラシを配る。
※コロナウイルス感染防止対策は、マスク着用、出入口に消毒液を置き、検温をする。そして人数制限し、人・客席の間隔はあける。

外では・・・

- ・抽選会
- ・熱田区の飲食店のお弁当のテイクアウト

ができる!



(参考写真: いらすとや
<https://www.irasutoya.com/>)

①テーマ

NGUプロキングと一緒にランニングをして熱田区をきれいに！



②アイデアのイメージ

問題点 ごみのポイ捨て



ゴミのポイ捨て

熱田区のホームページに記載されている令和2年熱田区区民アンケート結果によるとゴミのポイ捨てを気にしている区民が多かった。実際に日比野駅から名古屋学院大学までの道を見てみると、タバコの吸殻やペットボトルなどのゴミが目立っていた。

対策

NGU生がゴミ拾い運動を行う

ただNGU生だけが勝手にするのはなく、区民も参加できる運動にする。



NGUプロキング

ランニングをしながらゴミ拾いをする事ができる。

楽しく運動をしながら熱田区をきれいに



ランニングのコースには休憩所を設置



スポーツドリンクを飲んだり、アイスを食べたりして疲れた体をリフレッシュ！

プロキングとは…

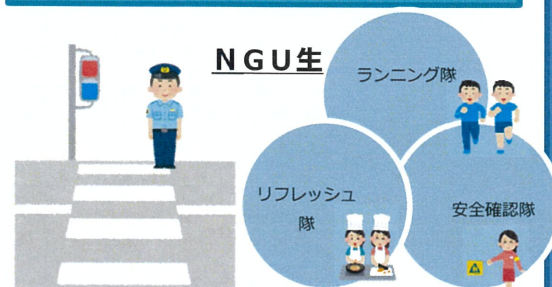
ごみ拾いをしながらランニングをする新感覚スポーツのこと

交通事故対策も必須である



安全+第一

ランニングコースは安全な道を！そして、横断歩道など少し危険な場所には地域の警察と連携を取り、参加者の安全を守る。また、当日はNGU生が3グループに分かれて活動することにより、スムーズに参加者を誘導できる。そのため参加者は安心してプロキングをすることができる。



終了後にはNGU生が作った美味しいランチを

ゴール地点はNGU



ごみ拾いと運動を頑張ったご褒美の手作りランチは美味しいはず！また、一緒に頑張った参加者同士で会話を楽しんでもらう機会にもなる。



様々な年代の方と交流することができる。

高齢化している熱田区の区民（特に高齢の方）にとって良い運動となる。また、熱田区の地域の活性化にも繋がる。



最後には記念に集合写真を

③アイデアの特徴・メリット

熱田区のホームページに記載されている令和二年度「熱田区区民アンケート」の結果によると、ゴミのポイ捨てが気になるという意見や、まちづくりに参加してみたいといった意見があった。このような意見を踏まえて、アイデアの特徴はNGU生だけがごみ拾いをして熱田区にきれいにするのはなく、区民にも参加してもらいたいイベントだということだ。区民の方にこのイベントを通して、正しいゴミ処理への意識を高めてもらうことも目的の一つである。また、熱田区では少子高齢化が進んでいるため、NGUプロキングを通して高齢者にとって良い運動機会になったり、イベントに参加した熱田区民以外の方が熱田区に魅力を感じ移住してもらったり、熱田区の宣伝になったりと、イベントを通して得られるメリットがたくさんある。

提出者

現代社会

学部

担当

先生

学籍番号／氏名